

第 39 回 日本中毒学会総会・学術集会
プログラム

6 月 30 日 (金)

第 1 会場 (大ホール)

8 : 45 ~ 9 : 00

開会式

9 : 00 ~ 10 : 20

シンポジウム

【隠れた母と子の中毒】

座長

国立保健医療科学院 澤口 聡子
筑波大学 宮本 信也

企画意図

国立保健医療科学院 澤口 聡子

1. 子どもの「薬物」中毒の背景にある子ども虐待

筑波大学 宮本 信也

2. 母子保健領域の中毒に関連する潜在的（隠れた）問題への対応の可能性

国立保健医療科学院 澤口 聡子

3. 小児の中毒に関連する不慮の外因死の実態

福知山公立大学 岡本 悦司

4. 刑事罰ではなく社会保障で取り組む薬物政策

立正大学 丸山 泰弘

10 : 30 ~ 11 : 30

教育講演 1

座長

武蔵野赤十字病院 須崎紳一郎

「これだけは知っておきたい CBRNE 対応」

日本中毒学会理事 奥村 徹

12:00～12:50

ランチョンセミナー 1

座長

東北大学大学院 医学系研究科 公共健康医学講座 法医学分野 白井 聖尊

「薬毒物分析のキホン—カギを握っているのは臨床現場の Dr です!—」

岩手医科大学附属病院 高度救命救急センター 薬物毒物検査部門 藤田 友嗣

13:00～14:00

特別講演

座長

筑西市医療監 水谷 太郎

「漢方薬による流産・不妊・先天奇形と、発がん性の関係」

筑波大学名誉教授 内藤 裕史

14:00～14:30

会員総会

14:40～15:30

教育講演 2

座長

筑波大学医学医療系 救急・集中治療医学 井上 貴昭

「支援者のメンタルヘルス」

筑波大学医学医療系 災害・地域精神医学 高橋 祥友

15:40～17:00

パネルディスカッション 1

【日本中毒情報センターの役割を考える—災害と中毒—】

座長

救急救命九州研修所 郡山 一明

北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター 臨床薬学・中毒学研究室 福本真理子

企画意図

救急救命九州研修所 郡山 一明

北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター 臨床薬学・中毒学研究室 福本真理子

1. 自然災害時に発生した中毒への対応

公益財団法人 日本中毒情報センター 飯田 薫

2. 化学テロ・事件への対応

公益財団法人 日本中毒情報センター 黒木由美子

3. 啓発・教育：化学災害対応

公益財団法人 日本中毒情報センター 遠藤 容子

4. 災害時の中毒情報の収集・発信のあり方

公益財団法人 日本中毒情報センター 三瀬 雅史

特別発言

公益財団法人 日本中毒情報センター 吉岡 敏治

17:10～18:30

日本毒性学会との合同シンポジウム

【毒と薬—自然毒の解明と創薬への期待—】

座長

独立行政法人 労働者健康安全機構日本バイオアッセイ研究センター
北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター 臨床薬学・中毒学研究室

菅野 純
福本真理子

企画意図

独立行政法人 労働者健康安全機構日本バイオアッセイ研究センター
北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター 臨床薬学・中毒学研究室

菅野 純
福本真理子

1. 銀杏食中毒の解明と治療法及び難病治療への寄与

北海道医療大学薬学部 衛生薬学講座 和田 啓爾

2. 我が国を代表する猛毒植物「日本三大毒草」の毒性と分析

警察庁科学警察研究所 太田 彦人

3. 自然毒と乱用（植物系脱法ドラッグについて）

北里大学薬学部附属薬用植物園 福田 達男

4. 植物有毒成分と創薬

田辺三菱製薬株式会社 育薬本部 務台 衛

第2会場（中ホール 200）

9:00～10:20

一般口演 1

【家庭用品】

座長

順天堂大学 医学部附属練馬病院 杉田 学
公益財団法人日本中毒情報センター 遠藤 容子

O-1-1 濃縮液体洗剤の経口摂取により代謝性アシドーシスと意識障害をきたし死亡転帰となった2例の検討

大阪警察病院 救命救急科 廣瀬 智也

O-1-2 洗濯用液体洗剤の経口摂取による全身症状に関する検討

公益財団法人 日本中毒情報センター 波多野弥生

O-1-3 典型的なARDSを呈した塩素ガス中毒の一例

公立昭和病院 救命救急センター 松吉 健夫

O-1-4 メチルアルコール中毒の一例

横須賀市立うわまち病院 救命救急センター 内倉 淑男

O-1-5 急性メタノール中毒に対してホメピゾールと血液透析法を用いた1症例

埼玉医科大学病院 薬剤部 栗原 弘紀

O-1-6 ホメピゾール投与と血液透析により代謝性アシドーシスの出現を阻止できたエチレングリコール中毒の1例

岩手医科大学救急・災害・総合医学講座 救急医学分野 藤野 靖久

O-1-7 致死量を超えたメタノール中毒に対し、Fomepizol使用により血液浄化を回避できた2症例

筑波大学附属病院 救急・集中治療部 城戸 崇裕

O-1-8 灯油の皮膚接触による化学熱傷と多臓器障害をきたした一例

久留米大学病院 高度救命救急センター 田代 恵太

【医薬品】

座長

東京都立墨東病院 明石 暁子
山梨県立中央病院 岩瀬 史明

- O-2-1** 認知症治療薬による急性中毒で意識障害を来した高齢者の一例
横須賀市立うわまち病院 救命救急センター 本多 英喜
- O-2-2** 市販の感冒薬大量服用
—アセトアミノフェン中毒にマスクされたカフェイン中毒—
岸和田徳洲会病院 救命救急センター 薬師寺泰匡
- O-2-3** 当院で診療したリチウム中毒症例の検討
順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 野村 智久
- O-2-4** オランザピン過量服用により極端な循環変動を呈した 1 例
公立昭和病院 救命救急センター 小島 直樹
- O-2-5** レボカルニチンを投与したバルプロ酸中毒の 2 例
国立国際医療研究センター病院 救命救急センター 井上悠太郎
- O-2-6** メチルフェニデートを含む多剤大量服薬により死亡した 1 例
岩手医科大学医学部 救急・災害・総合医学講座 小野寺 誠
- O-2-7** 複数の向精神薬服用と、リストカットを認める、浴室内死亡の 1 剖検例
山形大学大学院医学系研究科 医学専攻法医学講座 山崎健太郎
- O-2-8** リチウム内服による腎性尿崩症の 3 症例
関西医科大学 救急医学講座 丸山 修平

【自然毒・農薬】

座長

香川大学医学部附属病院 黒田 泰弘
北里大学病院 近藤留美子

- O-3-1** 脳梗塞と誤認されたフグ毒中毒の一例
—患者はフグ毒中毒と自覚しながらも意図的に摂取歴を隠そうとする—
神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター 井上 彰

- O-3-2** マムシ咬傷 14 例の検討—アドレナリン予防投与の提案—
神戸市立医療センター中央市民病院 救急救命センター 桑原 佑典
- O-3-3** 2014 ～ 2016 年における日本蛇族学術研究所への問い合わせより
(一財) 日本蛇族学術研究所 堺 淳
- O-3-4** スイセンの鱗茎中毒によって意識障害を来した一例
日立総合病院 本木麻衣子
- O-3-5** オオミフクラギ（自殺の木）の実の摂取によるケルベリン中毒の 1 症例
湘南藤沢徳洲会病院 救急総合診療部 関 藍
- O-3-6** 故意に殺鼠剤を服用し、凝固異常をきたした一例
国立病院機構水戸医療センター 救命救急センター 東郷 真人
- O-3-7** 有機リン中毒治療経過に出血性胃潰瘍を併発した一例
飯塚病院 集中治療部 平松 俊紀
- O-3-8** LC-MSMS を用いた血清中グリホサート、グルホシネート、ビアラホスの分析
東海大学医学部 斉藤 剛

15 : 50 ～ 17 : 10

一般口演 4

【工業用品・その他】

座長

大阪大学医学部附属病院 大西 光雄
新潟市民病院 廣瀬 保夫

- O-4-1** キシレン中毒の 1 例
高知医療センター 救命救急センター 野島 剛
- O-4-2** 重クロム酸カリウム服用による自殺企図にて搬送となった一例
近畿大学医学部附属病院 救命救急センター 丸山 克之
- O-4-3** 水タバコ喫煙による CO 中毒で搬送された 1 例
健和会大手町病院 救急科 山本 康之
- O-4-4** 急性一酸化炭素中毒と QTc 延長の関連についての検討
筑波大学附属病院 救急・集中治療部 吉田 美伽

- O-4-5** インターネットを経由して入手した薬品を使用した後に
当院へ救急搬送された症例の検討
順天堂大学医学部附属練馬病院 救急・集中治療科 高見 浩樹
- O-4-6** 覚せい剤関連死の社会医学的特徴
川崎医療福祉大学医療福祉学部 保健看護学科 守屋 文夫
- O-4-7** メタノール服用後に腹部を刺し、救急搬送された一例
関西医科大学総合医療センター 救命救急センター 大石 峻裕
- O-4-8** ブタンガス中毒による心停止に対して、
PCPS を用いて蘇生を試みたが救命できなかった 1 症例
総合病院土浦協同病院 救急集中治療科 山田 均

17:10～18:30

一般口演 5

【教育・研究】

座長

岩手医科大学医学部 藤野 靖久
近畿大学医学部 丸山 克之

- O-5-1** インスリン大量皮下注およびメトホルミン大量服薬により
低血糖性昏睡が遷延した症例
総合病院土浦協同病院 救急集中治療科 荒木 祐一
- O-5-2** 植物毒摂取の乳児に対して薬剤師が他職種、地域連携を行い対応した 1 例
公立陶生病院 薬剤部 齊藤 将之
- O-5-3** 薬物相互作用という観点からみた中毒治療法
大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 竹川 良介
- O-5-4** 中毒診療におけるシミュレーション教育
大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 竹川 良介
- O-5-5** 新人薬剤師を対象とした標準対応（SOP）カードによる中毒診療の教育
大阪大学医学部附属病院 薬剤部 松井 浩子
- O-5-6** 化学物質中毒事故削減に向けた急性曝露ガイドラインレベル（AEGL）の活用
国立医薬品食品衛生研究所 安全性予測評価部 森田 健

O-5-7 CO₂ ハイドレート含有製剤摂取時の二酸化炭素中毒発症リスクに関する安全性評価
—口腔咽頭肺モデルを用いたシミュレーション試験—

茨城県立中央病院 麻酔科・集中治療科 山崎裕一郎

O-5-8 CO₂ ハイドレート含有製剤摂取時の二酸化炭素中毒発症リスクに関する安全性評価
—健常人を対象とした安全性試験—

筑波大学附属病院 救急・集中治療部 榎本 有希

ポスター会場（中ホール 200 前）

17:00～18:00

ポスター発表 1

【医薬品 1】

座長

順天堂大学医学部附属浦安病院 阿部 智一

P-1-1 心不全患者に対するリドカイン点滴により副作用発現が疑われた 2 例

広島大学病院 薬剤部 吉川 博

P-1-2 常用量のドネペジル塩酸塩で急性コリン作動性症候群を呈した
アルツハイマー型認知症の 2 例

埼玉医科大学病院 ER・中毒センター 花澤 朋樹

P-1-3 カフェイン大量内服後、低カリウム血症に伴って心室細動を発症した一例

帝京大学ちば総合医療センター 救命救急センター 汐月 信仁

P-1-4 腎代替療法による早期のメトホルミン及び乳酸除去が奏効した
メトホルミン関連乳酸アシドーシスの 2 症例

三重大学医学部附属病院 薬剤部 榎屋 友幸

P-1-5 意識障害の原因としてセロトニン症候群の診断となった 1 例

武蔵野赤十字病院 神経内科 杉田陽一郎

P-1-6 日本中毒情報センターで受信したエチゾラムの小児の経口摂取例の検討

公益財団法人 日本中毒情報センター 竹内 明子

17:00～18:00

ポスター発表 3

【分析・その他 1】

座長

琉球大学医学部 福家 千昭

P-3-1 血中アルコール検知管による血中メタノールの定量

筑波大学医学医療系 法医学 向井 有希

P-3-2 薬物中毒症例における INSTANT-VIEW M-I の結果と服用薬物の比較

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 検査科 石田 浩美

- P-3-3** 中毒診療に対応した迅速薬毒物スクリーニング法の検討
東北大学大学院 医学系研究科 公共健康医学講座 法医学分野 白井 聖尊
- P-3-4** 探針エレクトロスプレーイオン化法 (PESI) を用いた
血清中薬毒物の迅速スクリーニング法の構築
岩手医科大学 救急・災害・総合医学講座 救急医学分野 /
高度救命救急センター 薬物毒物検査部門 藤田 友嗣
- P-3-5** 中毒起因物質の院内測定および薬物動態解析体制の構築
神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部 田村 亮

17:00 ~ 18:00

ポスター発表 4

【分析・その他 2】

- 座長 東海大学医学部 齊藤 剛
- P-4-1** 当センターにおける血中カフェイン濃度からみた中毒症例の検討
北里大学医学部 救命救急医学 吉村久仁子
- P-4-2** テオフィリン中毒の一例からみる救急外来専従薬剤師の意義
医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院 薬剤部 齋藤 靖弘
- P-4-3** メラトニン中毒例におけるメラトニンおよび代謝物の血中濃度測定
昭和大学薬学部 生体制御機能薬学講座 毒物学部門 光本(貝崎)明日香
- P-4-4** 救命救急センターにて受け入れた中毒患者の現状と薬剤局への問合せ内容の検討
一宮市立市民病院 薬剤局 岩田 智樹
- P-4-5** 金属に対する活性炭の吸着特性の検証ータリウム Yes!、リチウム No! ー
北里大学薬学部 臨床薬学研究・教育センター 中毒学 友田 吉則

7月1日(土)

第1会場(大ホール)

9:00～10:30

パネルディスカッション2

【急性二酸化炭素中毒】

座長

一般財団法人 救急振興財団 山本 保博

大阪大学大学院医学系研究科 法医学教室 松本 博志

1. 急性二酸化炭素中毒：死亡例から考える

大阪大学大学院医学系研究科 法医学教室 松本 博志

2. 急性二酸化炭素中毒

一般財団法人 救急振興財団 山本 保博

3. ドライアイスを搬送中に心肺停止に至った急性二酸化炭素中毒の一例

新潟市民病院 救急科 池上かおり

4. 急性二酸化炭素中毒モデルラットを用いたその死亡メカニズムの検討

筑波大学医学医療系 救急・集中治療医学 下條 信威

10:40～11:50

パネルディスカッション3

【緊急トピックス「VX中毒のサイエンス」】

座長

東京医科大学病院 織田 順

コメンテーター

日本中毒学会理事 奥村 徹

1. 神経剤 VX の毒性

昭和大学薬学部 沼澤 聡

2. VX 及びその対処について

元陸上自衛隊研究本部特殊武器研究室 中村 勝美

3. 会社員 VX 暗殺事件を振り返って

大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 大西 光雄

12:00～12:50

ランチョンセミナー 2

座長

昭和薬科大学 西島 正弘

「生活者にとって身近となった医薬品の個人輸入のリスク」

北海道薬科大学社会薬学系 薬事管理分野 岸本 桂子

13:40～15:00

パネルディスカッション 4

【中毒 ER 診療】

座長

さいたま赤十字病院 清田 和也
聖路加国際病院 救急部 大谷 典生

1. 当院での中毒診療の歴史

聖路加国際病院 石松 伸一

2. 急性薬物中毒患者を適切に応需し、救急外来で診療するために

さいたま赤十字病院 高度救命救急センター 早川 桂

3. 急性中毒入院症例の検討

帝京大学ちば総合医療センター 間宮 悠

4. 誰も知らない小児の薬物誤飲の実態—小児 ER での後方視的記述研究—

東京都立小児総合医療センター 救命救急科 寺内真理子

5. 当院総合診療センターにおける急性中毒症例についての検討

日本医科大学総合診療センター 救急診療科 宮内 雅人

15:10～16:40

パネルディスカッション 5

【災害・集団発生中毒】

座長

日本中毒学会理事 奥村 徹
米盛病院 富岡 譲二

企画意図

日本中毒学会理事 奥村 徹
米盛病院 富岡 譲二

1. 非常に報告の稀な G 群溶連菌による集団食中毒事例の報告

野崎徳洲会病院 救急センター 千代 孝夫

2. CBRNE を疑われた事案に関して、ドクヘリは患者搬送に関わるべきなのか？

順天堂大学医学部附属静岡病院 柳川 洋一

3. 火災事例における青酸定量の重要性 – 工場火災の 2 事例から –

旭川医科大学 法医学講座 奥田 勝博

4. マンホール内ガス中毒集団発生事案における消防・病院前・病院連携について

順天堂大学医学部附属浦安病院 福本 祐一

5. 中学校で発生したヒスタミン中毒の集団事例

順天堂大学医学部附属浦安病院 間所 俊介

16 : 45 ~ 17 : 00

閉会式

第2会場（中ホール 200）

9:00～9:45

招聘講演（海外招待講演）

座長

国立保健医療科学院統括研究官 澤口 聡子

“THE IMPORTANCE OF TOXICOLOGY TO FORENSIC PATHOLOGISTS”

Department of Pathology, The University of Hong Kong Philip S.L.Beh

10:00～10:50

教育講演 3

座長

大阪大学医学部附属病院 嶋津 岳士

「大規模災害に対する病院 BCP（診療継続計画）の考え方」

順天堂大学医学部附属浦安病院 岡本 健

11:00～11:30

特別報告

座長

一宮市立市民病院 山口 均

「温泉地における硫化水素中毒防止に向けた教育」

福島県立医科大学附属病院 高度救命救急センター 伊関 憲

11:30～12:00

委員会報告

座長

日本医科大学 宮内 雅人

「カフェイン含有製品の摂取後に救急搬送された 患者の背景、臨床経過、予後などに関する後方視的多施設共同調査」

埼玉医科大学病院 ER・中毒センター 上條 吉人

13:40～15:00

パネルディスカッション 6

【臨床検査と薬毒物分析―「なぜ、臨床検査室で薬毒物を測定しないのか」―】

座長

日本救急検査技師認定機構 福田 篤久
近畿大学医学部附属病院 増田 詩織

企画意図

近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部 増田 詩織

1. なぜ臨床検査室は薬毒物を測定しないのか？

近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部 増田 詩織

2. 検査センターでの薬毒物の受託検査の現状

株式会社 LSI メディエンス 齋藤 修二

3. 救急診療における薬毒物分析の重要性と課題

杏林大学医学部附属病院 高度救命救急センター 山口 芳裕

15:10～16:10

市民公開講座

座長

公益財団法人 日本中毒情報センター 波多野弥生

「急性中毒初期対応のポイント（コメディカル・保健師・保母向け）」

公益財団法人 日本中毒情報センター 高野 博徳

17:00～18:00

クリニカル・トキシコロジスト認定試験

ポスター会場（中ホール 200 前）

13:00～14:00

ポスター発表 2

【医薬品 2】

座長

大阪急性期・総合医療センター 藤見 聡

- P-2-1** ガストログラフィン®の誤嚥により、
Acute respiratory distress syndrome (ARDS) をきたし死亡した一例
日立総合病院救急集中治療科 奈良場 啓
- P-2-2** 高度の QRS 波延長と徐脈を伴うピルシカイニド中毒に対して
血液透析を施行し軽快した一例
日立総合病院救急集中治療科 島田 敦
- P-2-3** バラシクロビル塩酸塩で汎血球減少をきたした一例
高知医療センター 救命救急センター 政岡 未紗
- P-2-4** Ca 拮抗薬中毒により高度房室ブロック、ショックを呈した一救命例
国立国際医療研究センター病院 救命救急センター 山本真貴子
- P-2-5** 集学的治療により救命しえた重症ベラパミル中毒の 1 例
大阪府立急性期・総合医療センター高度救命救急センター 岡本 啓志

13:00～14:00

ポスター発表 5

【家庭用品・その他】

座長

神戸市立医療センター中央市民病院 有吉 孝一

- P-5-1** 原因不明のメトヘモグロビン血症に対しメチレンブルーが著効した 1 例
近畿大学医学部 救急医学 中尾 隆美
- P-5-2** 無煙タバコ製品のニコチン含量の測定
一新しいタバコ製品による中毒事故の防止をめざしてー
北里大学薬学部臨床薬学研究・教育センター 中毒学研究室 阿瀬川実里
- P-5-3** 無煙たばこ製品に関する日本中毒情報センターの受信状況
公益財団法人 日本中毒情報センター 飯田 薫

- P-5-4** 透析後に著明な脳浮腫をきたしたメタノール中毒の1例
青梅市立総合病院 大野 孝則
- P-5-5** 洗濯用パック型液体洗剤の小児および高齢者の誤飲事故
ー日本中毒情報センターの受信状況について 第3報ー
公益財団法人 日本中毒情報センター 今別府文昭
- P-5-6** 非麻酔下における急性二酸化炭素中毒モデルラットを用いた
プレコンディショニング効果とそのメカニズムの検討
筑波大学医学群医学類 岡崎 友香